

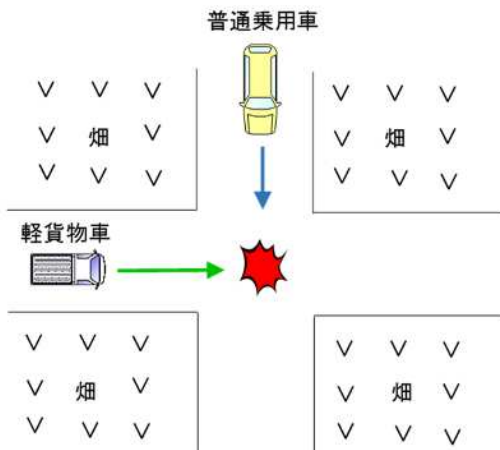
交通安全かわら版

令和5年7月
茨城県警察本部交通総務課
NO. 32

～見通しの良い交差点での交通事故防止～

田園地帯での重傷・死亡事故連続発生！

事件事例



6月以降田畑の広がる見通しの良い交差点における出会い頭の

重傷事故 3件

死亡事故 1件

が発生しています。

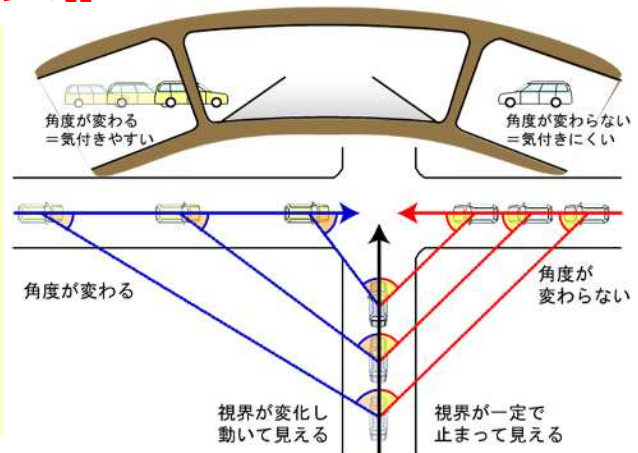
全ての事故が昼間に発生しており、4件中3件は第1当事者が高齢者の事故でした。

夏は暑さによる疲れなどから、周囲の安全確認が不十分となり、交差点での出会い頭事故が増加する傾向にあります。

見通しの良い交差点に潜む**「危険」**

人間の視野には、物の色や形をはっきり認識できる「中心視野」と、色や形の違いや動かないものは認識しづらい「周辺視野」があります。ドライバーは横から近づく車両を「周辺視野」でとらえやすいため、交差車両が同じ速度・同じ角度で近づいてくると、車両が動いてないように見えて、直前まで危険を認識できず衝突してしまうことがあります。

この現象は「コリジョンコース現象」と呼ばれています。



事故防止のポイント

- 走行中に頭や目線を左右へ向けて、**意識的に目線を違う方向に移し、コリジョンコース現象を回避**しましょう。
- 夏は、暑さやレジャーによる疲労が原因となる居眠り運転や、ぼんやり運転に注意しましょう。
眠気や疲労を感じたら早めに休憩を取ることが大切です。
- 一時停止規制のある交差点では**必ず一時停止し、左右の安全を確認**しましょう。
- 一時停止規制のない交差点では、相手の車両が「止まってくれるだろう」、「譲ってくれるだろう」という、「…だろう運転」はせず、万一の時に停止できる安全な速度で走行し、「止まらないかもしれない」、「車両が来るかもしれない」といった、「**…かもしれない運転**」で走行しましょう。
- 大切な命を守るため、**シートベルトは全席着用**しましょう。